

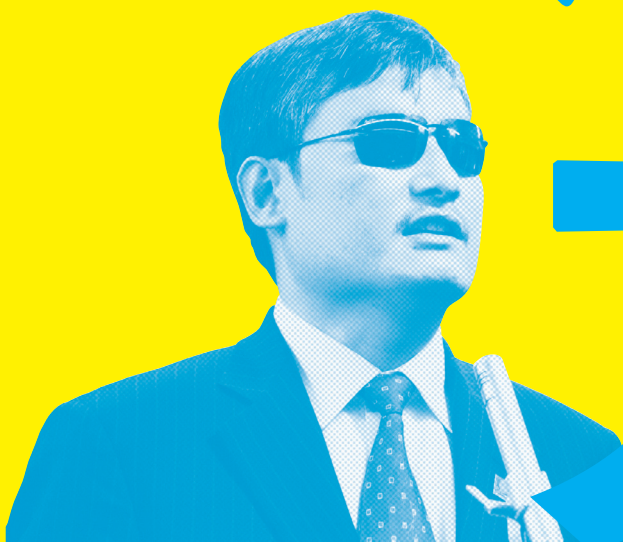
初来日!

陳光誠講演会

不屈カ

亡命から5年

盲目の人権活動家が語る。



アムネスティ全国スピーキングツアー@東京

- 日時: 2017年10月29日(日) 14:00-17:00 (13:30受付・開場)
- 会場: 明治大学駿河台校舎アカデミーコモン2階 A2・A3室
- 参加費: 無料 (要申し込み)

主催●公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 共催●明治大学現代中国研究所

アムネスティ・インターナショナルは、1961年に発足した世界最大の国際人権NGOです。1977年にはノーベル平和賞を受賞しました。今年6月、国際キャンペーン「BRAVE」を開始。人権のために取り組む人びとが迫害を受けることなく、安心して声を上げられる社会となるよう取り組んでいます。

国際舞台で存在感を増す中国。その裏で、よりよい社会をつくろうと声を上げる人びとへの弾圧がますます激しくなっています。

5年前、ある人権活動家の亡命が世界の注目を集めました。中国で“はだしの弁護士”[※]として名を馳せた陳光誠さんです。

幼い頃に病気で視力を失い、目が見えないことで差別を経験した彼は、独学で学んだ法律を武器に、障がい者や女性、地方で暮らす貧しい人たちのために取り組んでいました。

しかし「一人っ子政策」で、女性たちが強制的に墮胎させられたことを告発しようとしたため、政府から激しい弾圧を受ける

ようになります。地元当局による不当な身柄拘束や投獄、長期にわたる自宅軟禁、暴力……。家族を守るために、生き延びて活動を続けるために、命がけで中国を脱出し、米国へ渡りました。

講演では、ご自身の経験と支えてくれた人たちのこと、さらに中国での弾圧の実態を語ります。陳光誠さんの経験を通して、今も中国で人権のために闘っている活動家たちのために、私たち一人ひとりができることを一緒に考えませんか。

※正式な弁護士資格は持たないが、法律家の不足している農村部などで法律相談などの活動をする人のこと。

■ 主なプログラム ※逐次通訳あり※

城山英巳さんのお話 (15分) / 陳光誠さんのお話 (60分) / 対談 (30分) / 質疑応答 (45分)



【ゲスト：陳光誠 (ちん・こうせい) さん】

1971年中国山東省生まれ。生後まもなく病気により失明。18歳で小学校に入るまで正式に教育を受けたことはなかったが、大学に進学し指圧を学ぶ。独学で習得した法律の知識をいかし、「はだしの弁護士」として活動。水質汚染問題や障がい者への不当な待遇に対し訴訟を起こすなど、権利擁護に取り組む。「一人っ子」政策で強制的に墮胎させられた女性たちを支援するために当局の怒りを買ひ、脅迫を受けたり、自宅軟禁を強いられる。2012年、北京に脱出し、米国大使館へ保護を要請。その後、中国と米国両政府の交渉によって渡米が認められる。2007年、アジアのノーベル平和賞と呼ばれる“マグサイサイ賞”を受賞。



【ファシリテーター：城山英巳 (しろやま・ひでみ) さん】

1969年三重県生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、時事通信社入社。早稲田大学大学院修士課程修了。2011年から2016年まで2回目となる北京特派員を務める。中国駐在は計10年に及ぶ。2016年5月から時事通信社外信部編集委員。近著に『中国消し去られた記録 北京特派員が見た大国の闇』(白水社)。著書に『中国臓器市場』(新潮社)、『中国共産党「天皇工作」秘録』(文春新書、第22回アジア・太平洋賞特別賞受賞)、『中国人一億人電脳調査』(文春新書)。14年に戦後日中外交史などの報道で13年度「ボーン・上田記念国際記者賞」受賞。

● お問い合わせ・お申し込み先

公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14晴花ビル7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
Email:camp@amnesty.or.jp

お申し込み件名を「10/29東京講演・申し込み」とし、お名前・フリガナ・所属先を明記してご連絡ください。公式ウェブサイトからもご予約できます。介助を必要とされる方は事前にお知らせください。

オリジナルTシャツ販売中!

Tシャツを着て、講演会に参加しよう。

講演会のお申し込み・Tシャツのご購入はコチラから▼



● 会場場所

〒101-8301 千代田区神田駿河台1-1
最寄り駅:JR「御茶ノ水」駅から徒歩3分、
東京メトロ「新御茶ノ水」「神保町」駅から徒歩5分



AMNESTY
INTERNATIONAL

